

2017年度 早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターにおける

オリンピック・パラリンピック教育の取り組み:

セミナー, ワークショップ及び全国フォーラムを中心に

A report of Olympic & Paralympic Education in WASEDA Research Center for Olympic & Paralympic Education in 2017: Focusing on seminar, workshop and forum

友添秀則¹⁾, 深見英一郎²⁾, 吉永武史³⁾, 岡田悠佑⁴⁾, 根本想⁵⁾, 竹村瑞穂⁶⁾,
小野雄大⁷⁾, 青木彩菜⁸⁾

^{1), 2), 3), 4), 7), 8)} 早稲田大学スポーツ科学学術院

⁵⁾ 育英短期大学現代コミュニケーション学科

⁶⁾ 日本福祉大学スポーツ科学部

Hidenori Tomozoe¹⁾, Eiichiro Fukami²⁾, Takeshi Yoshinaga³⁾, Yusuke Okada⁴⁾, So Nemoto⁵⁾,
Mizuho Takemura⁶⁾, Yuta Ono⁷⁾, Ayana Aoki⁸⁾,

^{1), 2), 3), 4), 7), 8)} Faculty of Sport Sciences, Waseda University

⁵⁾ Ikuei Junior College

⁶⁾ Faculty of Sport Sciences, Nihon Fukushi University

キーワード: スポーツ庁, オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業,
オリンピック, パラリンピアン

Key words: JAPAN SPORTS AGENCY, Olympic & Paralympic Empowerment,
Olympian, Paralympian

【抄 録】

スポーツ庁が推進する「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」の委託を受けて 2016 年 7 月 29 日付で発足した早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター(WASEDA ROPE: WASEDA Research Center for Olympic & Paralympic Education; 以下, 「早大オリ・パラセンター」)は, 2016 年度に岩手県, 広島県, 熊本県の 3 地域の教育委員会等と連携して事業を実施した. 2 年目となる 2017 年度は, 2016 年度の 3 地域に, 札幌市, 静岡県, 岐阜県を加えた 6 地域の教育委員会等と連携して事業を実施した. 2017 年度の事業は, 授業場面と授業場面以外の事業に大別でき, 本稿では, 特に授業場面以外の事業を中心に記述した. 具体的には, セミナー及びワークショップの開催・支援と全国フォーラムの開催の 2 点について詳細に紹介した. そして, これらの取り組みの成果として, 地域セミナー, 地域ワークショップ及び全国フォーラムでの効果検証を通して, オリンピック・パラリンピック教育推進地域の教員のオリンピック・パラリンピック教育の重要性に対する認識や実践のための知識などを高めることに貢献することができた. 今後は, それぞれの取り組みの中で採用された講義やグループワークなどの方法に基づいた分析を通して, 教員のオリンピック・パラリンピック教育に関する意識や理解の向上に向けた, より効果的な方法を検討していくことが課題である.

スポーツ科学研究, 15, 64-76, 2018 年, 受付日: 2018 年 4 月 13 日, 受理日: 2018 年 8 月 4 日
連絡先: 友添秀則 〒359-1192 所沢市三ヶ島 2-579-15 早稲田大学スポーツ科学学術院

tomozoe@waseda.jp

